

平成 20 年度第 8 回（11 月）理事会議事録

- ◇ 日 時：平成 20 年 11 月 13 日（木）午後 6 時 30 分～8 時 00 分
- ◇ 会 場：社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者：今井、運天、竹浦、吉本、大垣、清水、荒木、田畑、井戸田、山田、宮野
酒井、栗本、山西、小宮山、東野、村上、事務（岩崎）
- ◇ 欠席者：高田、高橋、出野
- ◇ 議 長：今井

【 討議内容 】

I. 行動報告（10 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・ 10 月 17 日に、第 58 巻 1 号「医学検査」を“各都道府県技師会推薦論文”特集号として企画し、各都道府県技師会誌に掲載された優秀論文の推薦要請があったが、大臨技は、該当者なしの回答した。
- ・ 10 月 23 日に、エイズ予防啓発活動（世界エイズデー）として、大型ビジョン放映が平成 20 年 11 月 29 日～12 月 5 日の 7 日間に全国 47 会場で放映されるので、この期間中、各都道府県技師会に、エイズ予防啓発活動の要請があった。この事項は、11 月 8 日の日臨技理事会で正式決定した。

2. 近臨技

- ・ 10 月 18 日に、近畿臨床検査関連学会同時開催協議会を開催した。学会の 3 団体同時開催は近畿各府県一巡するまで実施し、平成 24 年度以降については今後検討する。平成 21 年度は、今井（京都府技師会）、検査医学会：佐守（日本臨床）、検査所協会：岡本（阪大微研）が担当する。平成 22 年度は、山本（奈良県技師会）、検査医学会：松尾（天理よろづ相談所病院）、検査所協会（担当未定）が担当する。平成 23 年度は、和歌山県技師会が担当する。
- ・ 10 月 19 日に、近臨技理事会を開催した。近臨技支部化に対する対応および公益法人対策部会から報告があり、討議、討論をしたが結論は出ず、次回 12 月 10 日の理事会で最終決定する予定である。
- ・ 10 月 19 日に、近臨技学術部会を開催した。日臨技支部化、プロモーションガイドライン、第 49 回近畿医学検査学会、平成 21 年度事業計画案および予算案、平成 20 年度事業報告および会計報告の提出について説明があった。

3. 公益法人移行委員会

- ・ 10 月 22 日に、公益法人移行委員会を開催した。公益社団法人移行に当って、留意すべき点を「公益認定等ガイドライン」に沿ってチェックした。
- ・ 10 月 27 日に、大阪府主催の「新公益法人に関する説明会」に今井会長、運天副会長が参加した。
- ・ 公益社団法人化への今後の取り組みとしては、メリット・デメリットを考慮して再検

討する必要がある、他府県の状況も参考しながら急がず慎重に行う必要があるとの意見があった。

4. 事務局

〈総務部〉10月15日に部会を開催した。

- ・ 「大臨技会員名簿」の作成状況について報告があった（10月中旬完成後、発送予定）。
- ・ 「年輪Ⅴ」の作成について検討および作成状況の確認をした。
作成依頼する印刷会社は、過去の年輪、大臨技会報および大臨技ニュース等のデータを保守している青雲堂印刷所に決定した。これは、データの守秘義務により他社では当該データを利用できないことによる。
- ・ 大臨技後援・共催規程の作成について討議および作成状況の確認をした。
- ・ 大臨技広告掲載要綱の見直しについて討議した。

〈広報〉

- ・ 大臨技ニュース10月号完成版について討議した。
- ・ 大臨技ニュース10月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉10月15日に部会を開催した。

- ・ 10月度収支決算書を作成した。
- ・ 日臨技へ10月分会費の送金を行った。

〈渉外部〉10月21日に部会を開催した。

- ・ 府民健康フォーラムの運営（受付・相談コーナー担当、配布チラシ等）について討議した。11月の部会で最終決定する。
- ・ 合同フォーラムの進捗確認を行った（第3回合同フォーラム会議準備（10月28日）の別紙資料あり）。
- ・ 30回記念献血推進活動（平成21年2月14日開催）の企画について検討した。
- ・ 手話講演会（平成21年2月7日開催予定）の進捗確認を行った。多田京子氏に講師依頼を予定している。

5. 事業局

〈情報組織部〉10月23日に部会を開催した。

- ・ 職域部会の内容を再確認し、広報の方法を検討した。
- ・ 2月に実施予定の技師長会の内容について検討した。チーム医療をテーマとしたい。
- ・ 来年度事業について討議した。

〈地区事業部〉10月23日に部会を開催した。

- ・ 新規事業に関して話し合った。
- ・ 微生物迅速検査事業に関しては、実習施設の都合により3月に実施予定となる。
- ・ 来年度事業について討議した。

〈学術部〉部会開催なし

Ⅲ. 他、報告

1. 第4回府民フォーラムの進捗状況

- ・ 11月22日（土）14：00～17：00 大阪YMCA国際文化センターで開催する。
10月28日にラジオ朝日の「全力投球！！妹尾和夫です」で広報した。

2. データ標準化事業の進捗状況

- ・ 参加施設は、基幹施設 9 施設、メーカー17 施設、一般 64 施設の計 90 施設（1 施設辞退）であった。
- ・ 10 月 13 日に、大阪市立大学附属病院にて採血ボランティア 23 名が参加しサンプル作成後、発送した。
- ・ 基幹施設のサーベイ結果は、各項目とも CV が 3%前後と良好な結果が得られ、サーベイ試料中のリポ蛋白分画測定結果には問題はなかった。基幹施設の平均値を目標値に設定し、許容範囲は基幹施設の SD または BA%（施設間正確度許容誤差）を使用する。
- ・ 各施設に対しレポートを含めたアンケート調査を実施する。
- ・ 送料は、来年より大臨技口座を使用する。
- ・ 標準化事業報告会を各支部で開催予定である。

3. 大放技・大臨技合同フォーラムの進捗状況。

- ・ 日 時：平成 21 年 1 月 17 日（土）13：00～17：00
場 所：大阪市立中央青年センター 第 1 ホール（250 名収容）
テーマ：40 歳からの特定健診（メタボリックシンドローム）
- ・ それぞれの講演に対し、参加者からの質問も予定している。
- ・ 広報は、公共施設掲示、地下鉄車内、新聞広告を利用する。前垂れ看板については会場確認後に決める。
- ・ 予算は両会の折半とする。（日臨技に申請を考えているが大放技との折衝において今回は見送る。）
- ・ その他の事項については、12 月 2 日の合同フォーラム会議にて決定する。

4. 後援、共催等の規程について

- ・ 内規規程扱いとした。
- ・ 前理事会で指摘された一部の文章は削除した。
- ・ 再度、内容について意見を募り、当面は、該当する案件があれば、その都度理事会で検討する。
- ・ 近日中に決定したい。

5. その他

なし

IV. 議 題

1. 特別賛助会員について

- ・ 現行の特別賛助会員制度について、公益法人化移行に伴う見直しを考慮し、今後、特別賛助会員を無くし、賛助会費と広告掲載費を区別した通常の賛助会員として取扱うこととした。

2. マタニティーカーニバルの後援について

- ・ 近畿圏の産婦人科 9 病院が主体となって開催される「マタニティーカーニバル 2009」の後援名義使用依頼が大臨技に対してあった。当会としては、当催しの趣旨に賛同し、後援名義使用を承認することとした。
- ・ 今後、当会としてボランティアの確保と広報活動を積極的に進めることとした。
- ・ 来年度より、当催しについて担当部より新規事業としての企画書および予算書を提出

することとした。

3. その他

- 日臨技からの委託事業として、エイズ啓発活動の要請があり、大臨技として活動に参加することとした。

11月29日～12月5日まで、エイズ予防啓発に関する映像が大阪市内の3箇所の大型ビジョンで放映される間に合わせ、大臨技としては、11月29日13:00から、難波でパンフレットおよびティッシュ配りをして啓発活動を行なうこととした。